

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

野口観光グループ50周年記念寄贈本

△一般▽50歳からは「孤独力」(保阪隆)▽ブラックホールが近づいたらどうなるか? (二間瀬敏史)▽僕が旭山動物園であった動物たちの子育て (山島哲雄)▽9割の人が栄養不足で早死にする(溝口徹)▽百年賢脳・健康法Iそのサラダ油が脳とからだを壊してる(山嶋哲盛)▽百年賢脳・健康法II認知症が嫌いなら油を変えよう(山嶋哲盛)▽ハケンアニメ!(辻村深月)▽日本でいちばん大切にした会社(坂本光司)△人

童書▽小学生のための文章レ

ッスンなんかヘンだを手紙で伝える(村中季衣)▽小学生のための文章レッスンラブレターを書こう(灰島かり)▽小学生のための文章レッスンみんなに知らせる(宮川健郎)▽キッズ生活探検おはなしシリーズ つたえよう・言葉と気持ち(斉藤洋とキッズ生活探検団・森田みちよ)▽つらいことから書いてみようか名コラムニストが小学5年生に語った文章の心得(近藤勝重)▽かばくん(岸田衿子・中谷千代子)▽詩 しんでくれた(谷川俊太郎・塚田康志)

■みずうみ読書の家

△一般▽願かけ(佐伯泰英)▽でんでら国(平谷美樹)▽狗

今月の1冊



「いのちはどこに
はいつてるの?」

作/竹内亨
画/早稲本雄二

人は死んでも生き返る」と思っている子どもたちが2割。「おもちゃだからいきかえたのよ」でも、人間は違うからね。いのちは、一度でもぬけちゃったらもう二度と、もどってこないんだからね。いのちの大切さをフタジックに描く。



寶童子(ぐひんどうし)の鳥(飯島和一)▽雨に泣いている(真山仁)▽怒り 上・下(吉田修一)▽起返の記(嶋津義忠)▽鹿の王 上・下(上橋菜穂子)▽絶唱(湊かなえ)▽劣化国家(二上ル・ファーガン)▽悲嘆の門(上・下)▽(宮部みゆき)▽被災弱者(岡田広行)

△一般▽群れない媚びないこころやつて生きてきた(下重暁子・黒田夏子)▽工場(小山西浩子)▽後妻業(黒川博行)▽ブラックライダー(東山彰良)▽旅のラゴス(筒井康隆)▽この一句108人の俳人たち(下重暁子)▽抱擁家族(小島信夫)▽砂の女(安部公房)

ピノキオ読み聞かせ会
 ■日時 4月20日 14時30分
 ■場所 あぶた読書の家

●開館時間
 午前10時より午後4時20分まで
 ●4月休館日
 16日・23日・29日・30日・5月3日・4日・5日・6日・7日
 (毎週木曜日・祝祭日休館)
 あぶた読書の家 ☎76・2100
 みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた



短歌

【あぶた短歌会】

三月定例会

豪雪で住み家が崩壊人命も

うしなわれたるをテレビがったふ 山木 孝

吹かれてきて道にかたよる老い老もて

身に春泥の思いかへりぬ 大西 芳子

春の日は気ままのものよぬくき日の

あるかと思へば小雪ちらつく 北島 加代

四年すぎ大震災のつめあとに

苦しむ人らの復興願ふ 太田 智

ホロホロと啼く声聞きて見上ぐれば

北へと向かふ白鳥の群れ 元田 フジ子

俳句

【あぶた俳句会】

三月定例会

主なき屋根にも優し春の月

古草やわたる日差しに鳥の群 那須 伶子

うららかや馬の親子も嬉しそう

絵馬揺るるパワースポットの杜芽吹く 菅原 敏子

陽を浴びて小枝にしがみ木の芽吹く

春の空三十六色の中の青 矢野 知子

梅が枝へ結びし神戴への字形

小笠原 勇 千葉 征子 佐藤 美風